

(9) 會社側ニ於テハ重税由中解散後五千ニ警備隊ヲ配署シ由  
入口ヲ釘付トナセルモ斯クテハ一層悪化ノ虞アル旨所轄署  
ヨリ注意ヲ與ケタルニヨリ常態トセルモ警備隊ニ居任セル  
者以テノ去リテ制限ニ警備シワ、アリ

大田常務ハ後三時頃去勢社員及郡工ヲ社内稱拾神社前ニ招  
集シ重税由ノ解散ニヨリ在社者ハ將素一層協力セヨレタキ  
旨稱勸スル意アリタリ

六、警備隊

重税由方力重百ヲモ暴行ノ致シ且時々毎商集會ヲ為セルニ日  
リ所獲員ニ於テハ再之有先スル莫アリタルモ首腦部ニ於テ遠  
守セ久休方日モ程度大分ニ毎商團體セルハ前夜ノ五十九力  
解散命令ニ對スル不服程ニ態度ヲ持シ且反抗シタル左記十五  
名ヲ核書セリ

記

有下代々 嶋倉 務 五三九

岡田 中央 務 八

有下 忍月 倉 高川 務 八八七

借家 人 山 島 務 五三九

有下 西 出 務 一一六

有下 島 務 日 治 會 務 五三九

有下 大 嶋 倉 務 五三九

有下 島 倉 務 五三九

有下 三 七五八

有下 三 三九

有下 三 三九

有下 三 三九

有下 三 三九

中村 務 南三十九年

中田 務 南三十九年

大沼 嶋 倉 南三十九年

篠内 弘 南三十九年

水杉 一郎 南三十九年

青島 久作 南三十九年